ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

令和１（2019）年
５月２５日発行
第８号
文責 (校長) 片山 隆

夢のふくらむ学校

LI校

初等部２・３年生と中高等部の授業参観を行いました。２年生は、「かんさつ名人になろう」の単元で、「かんさつって何だろう？」の問いに各自の考えを述べ合いました。前の単元では、説明文の読み取り方を習っています。「事実→その理由→自分の考え」と、筋道を立てて自分の考えを組み立てていきます。

↓２年生のかんさつ名人さん達は、何をじっくり観察するのでしょうか？ご家庭でも、身の回りのちょっとしたことや庭の花など何でもよいですから、一緒に「かんさつ」してみてはいかがでしょうか。



↓昼食前の時間を利用して、中高等部生徒会が運動会のリレー選手を発表していました。リレーは運動会の花なので、健闘を期待したいところです。補習校の性格上、生徒会活動は限定的になってしまいがちですが、生徒会長はじめ執行部は７５名の生徒の代表として目的意識を持って活動しています。



↓この日は、日本の３大学から関係者を招いて「学校説明会」が行われていました。昨今の北米の大学授業料の高騰や日本への興味関心の高まりを受け、日本の大学もグローバル人材の育成に本腰を入れはじめ、世界各地で開催されているそうです。



W校

補習校保護者会では、午後の活動として「放課後クラブ」を実施しています。今回紹介した以外にも、将棋、スーパーボール作り、カルトナージュでのリボントレー作り、剣道など多彩なラインナップでした。子どもたちは自分の興味のある活動だけに、積極的に取り組んでいました。これを機会に、様々なことに興味関心を持ってほしいものです。



↑上は、線の上を自走する「小型オゾロボット」の説明を興味津々で聞いているところです。自分で紙に線を引いて、コースを作り、走らせました。



↑フラワーアレンジメントでは、春らしくカラフルな花を見栄えよくまとめていました。自分の感覚で大きな花と小さな花を組み合わせ、色合いにも神経を注ぎました。



↑大ジムでは、ドッジボールを行いました。大きい子も小さい子も、それぞれの安全に留意しながら思いっきりボールを投げていました。